

平成 29 年度

「運営に関する計画」

最終評価

大阪市立長橋小学校

平成 29 年 4 月

(様式 1)

大阪市立 長橋 小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、人懐っこく子どもらしい子が多い。一方で、規範意識が低い児童もいて、大人の注意の仕方によっては悪事が余計にエスカレートすることも少なくない。しかし、そのような児童が育ってきた背景には、一言では語り尽くせない児童を取り巻く厳しい生活実態や時代背景がある場合がある。小さい頃からの成長過程で愛情不足により自尊感情が削がれたり、学ぶ機会に恵まれなかったりと、根幹となる心が荒んだ状態にある子が多い。また、自然体験や文化的社会的な体験など、本来各家庭で経験する多様な体験の絶対量に乏しい実態がある。保護者自身もそのような多様な体験をしてきておらず、その必要性が根付いていない子が多い。さらに、「長橋」や「西成」に対する偏見などにより、わが町に対して誇りやプラスのイメージを育む機会も少ない。

その中にあって、平成 27 年度には厳しい児童の生活背景から目を逸らすことなく向き合うことはもとより、学校創立 100 周年を生かして「長小チャレンジ 100」と題し、数多くのチャレンジを重ねた。また、地域と連携し学校外での支援もしていただいた。その結果、学校に笑顔が広がり、温かい人間関係が醸し出す空気が学校や町に流れるようになった。その流れを生かした昨年度、スローガンを「長小チャレンジ 100+1」と定め、あらゆる面で昨年を少しでも上回る取組に挑戦。児童からも、「あいさつ隊」や「ちびっこ防災プロジェクト」、「クリーンアップ大作戦」や毎週の児童集会など、これまでの教師主導の取組から児童主導の取組に変化し、児童の自主性・主体性が随所に見られるようになってきた。一方で、限られた児童がリードして授業が進むものの、授業後に全員が理解している状態となってなかつたり、授業や色々な活動に消極的な参加に留まっていたりする実態があった。また、既習事項が定着しにくい児童もまだまだいて、受け身であつたり自信がなかつたりすることが多い。

このような実態をふまえ、本年度、改革の第 2 ステージは、「長小チャレンジ 100 ウィズ・スマイル！」とのスローガンを掲げ、味わうことができ始めてきた「学校は面白い！」という感覚や「やつたら伸びる！」という実感を、引き続き感じられる機会を数多くつくりていき、さらなる笑顔咲く学校としていきたい。

特に、学習シーンでは、学ぶ過程を探求型に移行させ、子どもたちどうしが話し合ったり、説明し合ったりする中でより深い学びや理解につなげていく。また、その他のシーンでも、こんなことを調べてみたい、学校を盛り上げていくためにこんなことをしたい、というやる気のベクトルを大切にする。さらには、保育所や中学校との連携を見つめ直し、小学校へのなだらかな接続を意識した「小 1 スタートカリキュラム」の作成や、中 1 ギャップの解消に努めた小中連携を進化させていく。

このように、長橋小学校に入学した子が一人ももれなく確実な成長を遂げる教育環境とシステムの構築、そして生活背景を踏まえた一人ひとりへの深い関わりのある温かい学校

づくりに力強く前進する。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 校内調査において、「学校は、色々なことが学べて楽しいところである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を平成32年度までに90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 校内調査において、「授業の内容がわかりますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を平成32年度までに85%以上にする。
- 校内調査において、「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を平成32年度までに65%以上にする。
- 校内調査において、「運動することがすき」「どちらかといえばすき」と答える児童の割合を平成32年度までに85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を90%以上にする。
- ③ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童（生徒）数を前年度より減少させる。
- ④ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童（生徒）の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- ⑤ 本年度末に学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「自分にはよいところがある」「どちらかといえばある」と答える児童の割合を、70%以上にするとともに、「自分にはよいところがない」と答える児童の割合を15%以下にする。
- ⑥ 本年度末に学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「将来の夢や目標がある」「どちらかといえばある」と答える児童の割合を、85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標

準化した得点のこと)

- ② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 4 ポイント減少させる。
- ③ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 6 ポイント増加させる。
- ④ 平成 29 年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（シャトルラン）の平均の記録を、前年度より 1 ポイント向上させる。

学校の年度目標

- ⑥ 学力向上部が実施する全学年児童対象の学習アンケートで、「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対し、肯定的に回答する児童の割合を 50% 以上にする。
- ⑦ 学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「運動することがすき」「どちらかといえばすき」と答える児童の割合を 80% 以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立 長橋 小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
① 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ② 平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を90%以上にする。 ③ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童（生徒）数を前年度より減少させる。 ④ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童（生徒）の割合を前年度より減少させる。	
学校の年度目標	
⑤ 本年度末に学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「自分にはよいところがある」「どちらかといえばある」と答える児童の割合を、70%以上にするとともに、「自分にはよいところがない」と答える児童の割合を15%以下にする。 ⑥ 本年度末に学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「将来の夢や目標がある」「どちらかといえばある」と答える児童の割合を、85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学年会や定例ケース会議、各種部会において子どもの様子の交流を日常的に行う。いじめの早期発見に努め、掌握したいじめについてはその原因を明らかにし、組織的にいじめ解決を図ができるようにする。	
指標 ・いじめアンケート（毎学期実施） ・教職員による実態把握と解決状況	

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

生活目標、「長小10このいいね」、「学習の構え」など、生活規律や学習規律について、児童を褒めるなかで定着させる。また、子ども相互に評価する場面も効果的に取り入れ、自分のよさや可能性を感じられるようにする。それらのことを通し、児童自らが行動をよりよいものにしようとする意欲を高める。

指標

- ・取り組み後の自己評価（アンケート及び児童の感想）
- ・全国学力・学習状況調査の児童質問紙にある自尊感情をみる項目
- ・生活アンケートの自尊感情をみる項目

取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

学校ホームページを活用し、保護者や地域の方々により学校の活動に関心をもってもらえるようにし、子どもたちの活動を知ってもらうことで認められる場面となるようにする。

指標

- ・学校ホームページ閲覧数

取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

学年会や定例ケース会議、各種部会において子どもの様子の交流を日常的に行う。生活指導上に課題が見られる子どもの生活背景や生活のようすを的確に把握し支援する。

児童の気持ちに寄り添った個別指導をしたり、家庭と連携したりしてより効果的な支援をする。保護者、関係諸機関との連携も行う。

指標

- ・いじめアンケート
- ・教職員による実態把握と支援結果の進捗状況

取組内容⑤【施策3 教育環境の実現・地域に開かれた学校づくり】

【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

欠席があったときには、可能な限り家庭訪問や連絡をして理由を明らかにするとともに、登校に向けた支援をしっかりとする。日常的な保護者との関係作りを大切にする。生活背景を的確につかみ、解決困難なケースが生じたときには、校内で組織的に対応するだけでなく、関係諸機関とも連携していく。

指標

- ・出席簿による実態調査

取組内容⑥【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

命の教育として防災教育に取り組む。中学校の活動に参加したり、中学生と協

力したりして、学校や地域に目を向け、自分たちの町や人を大切にする心を養う。また、自分たちの町や人のために行動することや、地域の方々から期待や感謝されることを通して、自身の存在の大きさに気づき、自尊感情を育む。

指標

- ・取り組みの事前事後のアンケート及び児童の感想
- ・全国学力・学習状況調査の児童質問紙にある自尊感情をみる項目
- ・生活アンケートの「自尊感情・将来の夢」をみる項目

取組内容⑦【施策2 道徳心・社会性の育成】

【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

韓国・朝鮮につながりをもつ児童をはじめ、フィリピン、中国など8つの国や地域につながりのある児童が在籍している。それぞれの国の歴史や民族の文化を理解し、民族のアイデンティティーを育てるとともに、国際社会を生きる素地となる力を育てる。

指標

- ・発表会の実施
- ・学習や活動の様子を伝える新聞等の定期発行
- ・発表会など、取り組みの事前事後のアンケート及び児童の感想

取組内容⑧【施策2 道徳心・社会性の育成】

【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

地域や社会で活躍している人をゲストティーチャーとして招いたり、施設を見学したりする体験的な学習を通して人権教育を推進する。それら「ひと」「もの」「こと」にふれ、土台にある「こころ」を学ぶことで、自分の可能性や地域の良さに気づき、一人ひとりがかけがえのない存在であることを実感できるようにする。

指標

- ・取り組みの事前事後のアンケート及び児童の感想
- ・生活アンケート-「自尊感情・思いやり・いじめに対する意識・規範意識」に係る項目

取組内容⑨【施策2 道徳心・社会性の育成】

【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

本校地域の産業である皮革産業に携わる人や、職業人として、また芸術・文化・スポーツ界で活躍する「ほんもの」にふれ、憧れをもつとともに将来の夢を多くもてるようとする。

指標

- ・取り組みの事前事後のアンケート及び児童の感想
- ・生活アンケート-「自尊感情・思いやり・いじめに対する意識・規範意識」に係る項目

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立 長橋 小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
<p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 4 ポイント減少させる。</p> <p>③ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 6 ポイント増加させる。</p> <p>④ 平成 29 年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>⑤ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である「シャトルラン」の平均の記録を、前年度より 1 ポイント向上させる。</p>	
<p>学校園の年度目標</p> <p>⑥ 学校が実施する全学年児童対象の生活アンケートで、「運動することがすき」「どちらかといえばすき」と答える児童の割合を 80% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>各学年の教師集団が学年児童全体の把握を行い、基礎・基本的な学習内容の定着を図り、児童一人ひとりに応じた指導や支援を実践する。TT体制を活かして、習熟度別少人数指導を取り入れるなどして、補充学習を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童への学習アンケートの国語科・算数科に対する「わかる」「どちらかといえばわかる」と答える児童の割合 	

取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】
 日々の授業において具体的な活動の支援を行い、児童一人ひとりが主体的に学ぶ姿勢を引き出す授業を展開する。また、ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、学び合いの手法を用いて対話的で深い学びができるようにする。

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童への学習アンケートの「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対し、肯定的に回答する児童の割合 	
<p>取組内容③【施策4 全ての基盤となる幼児教育の普及と質の向上】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>「児童がより学びたくなる授業展開の工夫～算数科を通して～」の研究を推進する。具体的には、一人ひとりが課題解決できる支援のあり方や、全ての児童を学びの場に入れることと、より深い学びとするための支援や工夫、ＩＣＴ等を活用した視覚聴覚支援の工夫について追究する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業研究および公開授業：全教員 授業力向上のための校内研修の回数 就学前の実態をふまえた1年スタートカリキュラムの作成 	
<p>取組内容④【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 【施策4 全ての基盤となる幼児教育の普及と質の向上】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>6年生が1年生に、小学生が保育所の子どもたちに等、縦割りの読み聞かせを行う。目的意識を持ち、各自が読み聞かせの練習を重ねたり、低学年の何気ない疑問に答えたりするなかで、読書力や思考力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの読み聞かせが楽しいと肯定的に答える児童の割合 	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持促進する力の育成】 【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>各学期に、児童の体力向上に向けて体力向上週間（かけ足・なわとびなど）を設定し、がんばりカードを活用することで、目標を持って取り組ませるようにする。また、自分の体力や能力の向上を記録として残し、視覚的に自分の上達を実感できるようにする。雨天時に屋内運動教室を活用できる環境をつくり、日常的に運動に取り組みやすいようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育科の授業後のアンケートで肯定的に答える児童の割合 体力向上週間実施後の児童アンケートの、体力づくりや運動に親しむ項目で、肯定的に答える児童の割合 	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持促進する力の育成】</p> <p>「新・長小たいそう」を作成し、体幹を鍛えるため日々実践する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新・長小たいそう」が作成することができたか。 	

- ・ 生活アンケート質問項目「1時間目から集中しているか」を問う項目の割合

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点